

令和3年5月28日

令和3年第2回神奈川県議会定例会

# 厚生常任委員会報告資料

健康医療局

## 目 次

ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症について..... 1

# 1 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症について、これまでの対応状況等を報告する。

## (1) 感染者の発生状況

5月25日現在、県内における感染者の累計は、クルーズ船における感染者等を除き、60,175人となっている。

### ア 症状別の状況

(5月25日現在)

入院 602人	重症 78人	中等症 468人	軽症・無症状 56人	宿泊施設療養 414人	自宅療養 1,058人	死亡(累計) 871人

### イ 新規感染者数の推移

日	月	火	水	木	金	土	週合計	日	月	火	水	木	金	土	週合計
1月 31	2/1	2	3	4	5	6	週合計 1745人	4月 25	26	27	28	29	30	5/1	週合計 1620人
390人	221人	187人	234人	224人	288人	201人	週合計 1039人	221人	160人	212人	257人	255人	240人	275人	週合計 1590人
2月 7	8	9	10	11	12	13	週合計 829人	247人	222人	214人	151人	224人	229人	303人	週合計 2175人
164人	121人	141人	176人	178人	154人	105人	週合計 783人	9	10	11	12	13	14	15	週合計 1915人
108人	71人	133人	115人	142人	129人	131人	週合計 787人	338人	237人	277人	319人	337人	339人	328人	週合計
21	22	23	24	25	26	27	週合計 728人	16	17	18	19	20	21	22	週合計
100人	96人	97人	93人	119人	116人	162人	週合計 725人	23	24	25	26	27	28	29	週合計
28	3/1	2	3	4	5	6	週合計 673人	296人	199人	248人	269人	308人	327人	268人	週合計
131人	52人	84人	138人	138人	131人	113人	週合計 784人	286人	218人	200人	225人				週合計
3月 7	8	9	10	11	12	13	週合計 725人	30	31	6/1	2	3	4	5	週合計
119人	59人	100人	124人	124人	107人	95人	週合計 725人	6月 6	7	8	9	10	11	12	週合計
14	15	16	17	18	19	20	週合計 673人	13	14	15	16	17	18	19	週合計
109人	55人	91人	93人	159人	111人	107人	週合計 784人	20	21	22	23	24	25	26	週合計
21	22	23	24	25	26	27	週合計 951人	27	28	29	30	7/1	2	3	週合計
77人	56人	72人	128人	121人	117人	102人	週合計 1243人	7月 4	5	6	7	8	9	10	週合計
64人	93人	96人	136人	133人	133人	129人	週合計 1531人	11	12	13	14	15	16	17	週合計
4月 4	5	6	7	8	9	10	週合計 1620人	18	19	20	21	22	23	24	週合計
142人	68人	100人	118人	175人	168人	180人	週合計								週合計
11	12	13	14	15	16	17	週合計								週合計
132人	94人	114人	205人	242人	209人	247人	週合計								週合計
18	19	20	21	22	23	24	週合計								週合計
220人	142人	157人	252人	318人	226人	216人	週合計								週合計
25	26	27	28	29	30	5/1	週合計								週合計
221人	160人	212人	257人	255人	240人	275人	週合計								週合計

## (2) 医療提供体制

### 病床の確保状況等

(5月25日現在)

区分	入院者数 (a)	即応病床数	病床確保 フェーズ3	最大確保 病床数(b)	病床利用率 (a/b)
重症	78人	169床	159床	199床	39.2%
中等症・ 軽症	524人	1,320床	1,316床	1,591床	32.9%
計	602人	1,489床	1,475床	1,790床	33.6%

### (3) 宿泊療養施設におけるクラスターの発生

県が運営する宿泊療養施設（パークインホテル厚木）において、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。

#### ア 感染者の発生状況

	区分	年代	性別	居住地	症状	経過
1	看護師（委託）	40代	女	東京都大田区	中等症	17日発症 19日陽性
2	県職員	60代	男	相模原市南区	軽症	19日発症 21日陽性
3	県職員	60代	男	横浜市瀬谷区	軽症	21日発症 24日陽性
4	県職員	50代	男	秦野市	軽症	22日発症 25日陽性
5	運営スタッフ （委託）	40代	男	厚木市	軽症	22日発症 25日陽性
6	運営スタッフ （委託）	20代	男	伊勢原市	軽症	24日発症 25日陽性
7	運営スタッフ （委託）	50代	女	東京都八王子市	軽症	20日発症 26日陽性
8	運営スタッフ （委託）	20代	男	東京都八王子市	軽症	23日発症 26日陽性

#### イ 感染拡大防止に向けた対応

- ・ 新たな感染を防ぐため、宿泊療養施設の執務室等の消毒を実施
- ・ 5月23日、24日及び26日に、同宿泊療養施設で勤務する県職員、看護師（委託）、運営スタッフ（委託）、警備員（委託）、ホテルスタッフの計59名を対象にPCR検査を実施（検査の結果、26日現在1名陽性が判明（上記感染者6））
- ・ C-CAT（神奈川コロナクラスター対策チーム）が介入して調査を開始（5月25日に現地調査を実施）
- ・ 同宿泊療養施設では、施設スタッフ減員対応のため、5月23日以降、当面、療養者の新規受入れを停止

#### ウ 今後の対応

- ・ C-CATの調査結果に応じて、感染防止対策を追加実施
- ・ 宿泊療養施設のスタッフに有症状者が発生した場合には、速やかに集中検査を実施する体制を構築

### (4) 新型コロナワクチン接種後の副反応等に対応する体制強化

新型コロナワクチン接種後の副反応等に関する相談に対応するため、3月22日から専門相談センターを開設しているが、今後、ワクチン接種が本格化することに備え、副反応等に対応する体制を強化した。

## ア 事業概要

ワクチン接種後の副反応等に対し、より専門的な相談や診療に対応するため、地域での救急対応に加え、必要に応じてかかりつけ医等の身近な医療機関からの紹介により、副反応に対応する専門的な医療機関として、新たに県内の11医療機関を設置した。

## イ 副反応が発現した際の対応

### (ア) 一次対応

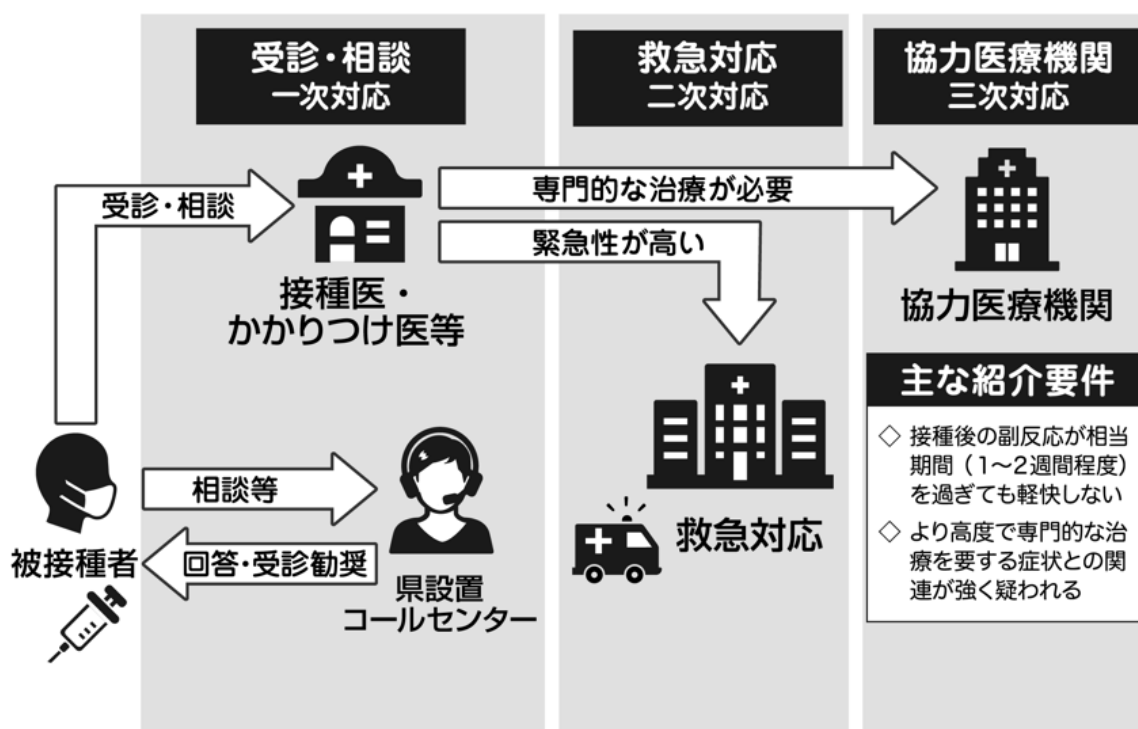
- ・ 県が設置する専門相談センターへの相談
- ・ 必要に応じて、接種医、かかりつけ医等へ相談・受診

### (イ) 二次対応（アナフィラキシー等、緊急性が高い場合）

- ・ 当該地域の救急医療体制により対応

### (ウ) 三次対応（相当期間を経過後も症状が軽快しない等、一次対応で対応が困難な場合）

- ・ 県が協力を依頼した専門的な医療機関へ相談・紹介受診
- ・ 発現している症状が、循環器疾患や脳神経疾患等の、より高度で専門的な治療を要する症状との関連が強く疑われる症例等の対応



## ウ 副反応に対する知見向上のための取組み

副反応に対する知見の集積や診療の質の向上を図るため、専門的な医療機関の医師間で、タイムリーに情報共有を行うコミュニケーションアプリ「Join」を導入するなど、ICTを活用した取組みを進める。

(5) 高齢者向け新型コロナワクチンの市町村配分に係る希望数量の転記誤り

新型コロナウイルス感染症に係る高齢者向けワクチンの配分については、市町村からの希望数量に基づき、県から国に要望しているが、第4クール（4月26日、5月3日の週）の配分の際、真鶴町から提出された希望数量を県が転記誤りしたことにより、配分数量を1箱（975回分）少なくしていたことが判明したため、その旨を真鶴町に報告した。

ア 経緯

4月12日	真鶴町から第4クールの配分数量が少ないことについて確認があったが、県としては、この段階では、真鶴町の希望数量に基づき配分数量を調整したと認識していた。県から町へは、希望数量に満たない分については、第5クールの配分の際に、考慮する旨を説明した。
5月2日	真鶴町議会から経過の確認を求められたことから、町から県に対して、改めて、真鶴町の配分数量が少なかった経緯を確認したい旨の要請があった。
5月11日	県で調整経過を確認した結果、真鶴町の希望数量を本県が転記誤りしていたことが判明した。

イ 原因

V-SYSでは、市町村納入希望数量を接種可能回数で管理しており、県で、箱数に換算のうえ、配分数を調整しているが、この際、希望数量を県が転記誤りしたまま配分量を確定させたことが原因である。

ウ 今後の対応

業務上の手入力作業を改め、市町村が入力したCSVデータを直接抽出し処理を行うとともに、改めて複数人によるチェックを行い、再発防止を徹底する。